



受講者募集中  
5/24(月)  
申込書必着

# JICA 中部 2021 年度 開発教育指導者研修（実践編）



- 学習者主体の開発教育・国際理解教育の理念や手法を学びたい
- 環境、共生、平和、人権などのテーマやESD（持続可能な開発のための教育）、SDGs（持続可能な開発目標）への関心と学び方を深めたい
- ファシリテーションや主体的で対話的な深い学びの技術を身に付けたい

**そのヒントが見つかる！仲間に出会える！**

**じっくり学ぶ年間研修：6/19(土)～2/27(日)に4回8日間  
(受講費無料)**

主催：独立行政法人国際協力機構中部センター（JICA 中部）

後援：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、静岡県教育委員会、  
(申請中) 名古屋市教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会



# 研修の概要

## (1) 研修の目的

持続的かつ効果的な開発教育・国際理解教育（「当該教育」という。）を実践する中核的な指導者を育成すること、指導者間の連携強化およびネットワーク形成を行うことを目的とします。

## (2) 研修の日程および内容 ※ 諸事情により変更になる場合があります。予めご了承ください。

下表の4回の研修および実践報告フォーラムを通して、受講者自らが、当該教育の学び方を学び、当該教育の目的、扱う内容、参加型手法についての理解を深めると共に、実践者としてのスキルアップを図ります。

回	日時	内容（予定）
第1回	6月19日（土）13:00～17:00 6月20日（日）10:00～15:00	当該教育の目的・内容・進め方を体験的に学ぶ 私たちの社会の現状課題を確認し、未来への希望を語り合う
第2回	7月17日（土）13:00～17:00 7月18日（日）10:00～15:00	テーマについて学ぶ、テーマのために学ぶー 流れのある参加型プログラムを体験する
第3回	8月28日（土）13:00～17:00 8月29日（日）10:00～17:00	気づきを行動につなぐ参加型デザイナー実践に向けて学ぶ 多様な切り口からの学習者主体のプログラムを作る
<b>9月～2月：各自、学校の授業などで実践！</b> 11月13日（土）、1月22日（土）13:00～17:00 実践のフォローアップ会（自由参加）、フォーラムでのワークショップ提供チームの検討会（有志）		
第4回	2月26日（土）10:00～18:00	当該教育の可能性ー学びの好循環を作るー 実践の成果と課題の共有（教師海外研修受講者を含む）
実践報告フォーラム	2月27日（日）10:00～17:30	実践の報告、実践体験ワークショップの提供（有志） 実践者つながりワークショップ（過年度受講者との交流）

### 研修で学ぶこと 得られること

- ① 国際理解教育と開発教育の関係やESD、SDGsとの関連、当該教育の理論や方法論
- ② SDGsを理解するための参加型プログラムの体験によるその効果の実感と実践意欲の高まり
- ③ 学習者の気づきから行動へとつながる“ねらい”を実現するプログラムづくりの考え方と手法
- ④ 教育ファシリテーターの4つの役割と学習者に対する問う力を持ったファシリテーション力
- ⑤ 『為すことで学ぶ！』研修での学びを各現場で実践する契機の提供と、実践後の共有・向上
- ⑥ 教育に対して同じ志を持った仲間との出会い、相互の学び合いの関係やネットワーク

## (3) 研修の場所 JICA 中部 なごや地球ひろば2階セミナールーム

愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60-7 TEL 052-533-0220（代表）

## (4) 研修のファシリテーター

（特活）NIED・国際理解教育センター 代表 伊沢令子



ERIC 国際理解教育センターでの研修を経て、1998年に名古屋でNIED・国際理解教育センターを設立。現在は、自治体、教育委員会、国際関係団体、大学・学校、NPO/NGOなどの依頼により、年間100回以上の参加型ワークショップを実施している。当該研修は10年以上ファシリテーターを務めている。

- ◇ NPO 法人 NIED・国際理解教育センター 代表理事
- ◇ オルタナティブ・スクールあいち惟の森 テーマ・スキル学習コーディネーター
- ◇ 中京大学「国際理解教育論」、愛知学院大学「ファシリテーション」非常勤講師



※ 過去の開発教育指導者研修、実践報告フォーラムの内容はJICA 中部ウェブサイトです。

JICA中部 開発教育 検索



## 過年度の受講者の声

普段の仕事・現場では得られない手法を知り、他の参加者から違った考えや意見を聞き、現場で生かせる学びをたくさんの蓄えることができた。それを実践し、生徒に学びがあったと実感でき嬉しかった。

[50代女性・高校教員]

たくさんの方の実践を拝見してより多くの指導方法を学ぶことができた。またこの研修を通して、向上心やモチベーションが上がり、仕事がより充実した。

[20代女性・小学校教員]

開発教育は、やっぱりいろんな意味で面白い！ [40代女性・中学校教員]

ねらいを明確にすることが、ブレない流れのあるプログラムを作る上で大切だとわかった。 [30代女性・NPO]。

これからも実践を続けるだけでなく、実際の自分の行動を変えたり、他の人にも広めたりしていきたい。 [30代女性・小学校教員]

自分の実践に対し、理論的裏付けが出来て、この考えで進んで大丈夫という自信になった。 [30代女性・高校教員]

学んだ手法や言葉がけを実践すると、生徒の学びの質も向上し、主体的に楽しんで学習していた。 [20代男性・中学校教員]

### 研修の満足度



## 募集要項

### (1) 対象

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教師、教育委員会の指導主事、地域国際化協会職員、NGO/NPOスタッフ、JICA 海外協力隊経験者などで、開発教育・国際理解教育を実践する場があり現在実践されている方

### (2) 参加条件

- ① 原則、全研修日程に参加可能な方。
- ② 所属校や地域において実践を行い、実践報告シート（A4版1枚）を2月中旬までに提出すること、実践報告フォーラムで発表すること、報告書冊子やJICAウェブサイト等で学校名、氏名とともに公開されることに同意できる方
- ③ 本研修に関わる連絡・情報共有のため、Eメールアドレスでの連絡が可能な方

### (3) 定員 30人程度 ※ 過去の本研修を受講された方のご応募も可能です！

### (4) 参加費 無料（交通費は各自で負担。JICA 規程に基づき、遠方の方は宿泊料のJICA 負担あり。）

### (5) 応募方法、選考など 【留意事項】 申込受領や選考結果について連絡がない場合は事務局にお問合せください。

- ① 申込様式に必要事項をご記入のうえ、FAX、Eメール、郵送にて下記事務局にお送りください。  
※ Eメールにて応募書類を受領した旨の連絡をします。  
※ JICAウェブサイトにある申込書様式（Word）も活用できます。
- ② 申込書に記入する「Eメールアドレス」は2～3日以内に確認ができるものをご記入ください。
- ③ 申込み締切は5月24日（月）24:00 事務局必着です。
- ④ 応募書類に基づき選考を行います。選考結果は6月4日（金）までに事務局より連絡いたします。

## 応募・問合せ先

申込書は必ず下記事務局へお送りください。

申込様式はJICAウェブサイト <https://www.jica.go.jp/chubu/enterprise/kaihatsu/shidousha/> からダウンロード可。

### 【開発教育指導者研修（実践編）事務局】

★特定非営利活動法人 <sup>ニード</sup> N I E D ・国際理解教育センター JICA 研修係（担当：川合）

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町二丁目3番地 YWCA ビル7階

E-mail : [jica-ksj@love-hug.net](mailto:jica-ksj@love-hug.net)（お問合せは、原則Eメールでお願いします）

TEL : 070-5333-5566 FAX : 052-766-6440

